

1 介護予防特定高齢者施策
 (1) 特定高齢者把握事業関係
 ア 特定高齢者数の動向

	(単位:人)						(単位:人)						(単位:人)					
	男性			女性			男女合計											
	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	計	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	計	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	計
人口						0						0	0	0	0	0	0	0
年間発生数						0						0	0	0	0	0	0	0
年間終了数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
改善数						0						0	0	0	0	0	0	0
悪化数						0						0	0	0	0	0	0	0
死亡数						0						0	0	0	0	0	0	0
その他						0						0	0	0	0	0	0	0
不明						0						0	0	0	0	0	0	0
年度末時点数						0						0	0	0	0	0	0	0

審査

クリア

- ・該当する者の数を、男女別及び年齢階級別に計上すること。
- ・「年間発生数」は、当該年度中に、新たに特定高齢者と決定された者の数を計上すること。年齢階級は、発生時点の年齢により区分すること。
- ・「年間終了数」は、当該年度中に、特定高齢者ではなくなった者の数について、「改善数」、「悪化数」、「死亡数」、「その他」、「不明」に区分して計上すること。年齢階級は、終了時点の年齢により区分すること。
- ・「改善数」は、状態の改善により、介護予防特定高齢者施策を終了した者の数を計上すること。
- ・「悪化数」は、入院、要支援・要介護状態への移行等、状態の悪化により、介護予防特定高齢者施策を終了した者の数を計上すること。
- ・「死亡数」は、死亡により、介護予防特定高齢者施策を終了した者の数を計上すること。
- ・「その他」は、転居や本人の意向などの、心身の状態とは関係のない理由により、介護予防特定高齢者施策を終了した者の数を計上すること。
- ・「不明」は、介護予防特定高齢者施策を終了した理由が明確でない者の数を計上すること。
- ・「年度末時点数」は、年度末時点において、現に、介護予防ケアプランに基づき、介護予防特定高齢者施策の事業に参加している者の数を計上すること。年齢階級は、年度末時点の年齢により区分すること。

理由記入欄(エラー有りでも内容が正しい場合など記入して下さい)

イ 把握経路別の特定高齢者数

		計	男性	女性
特定高齢者の年間発生数 (人)		0		
把握経路 (件)	本人・家族からの相談	0		
	基本健康診査(生活機能評価)	0		
	医療機関からの情報提供	0		
	民生委員からの情報提供	0		
	地域住民からの情報提供	0		
	要介護認定非該当者	0		
	訪問活動による実態把握	0		
	高齢者実態把握調査	0		
	要支援・要介護者からの移行	0		
	その他	0		

審査

クリア

- ・当該年度中に、新たに特定高齢者と決定された者について、把握の経路別に計上すること。
- ・「年間発生数」は、当該年度中に、新たに特定高齢者と決定された者の数を計上すること。
- ・「把握経路」の内訳を、「本人・家族からの相談」、「基本健康診査(生活機能評価)」、「医療機関からの情報提供」、「民生委員からの情報提供」、「地域住民からの情報提供」、「要介護認定非該当者」、「訪問活動による実態把握」、「高齢者実態把握調査」、「要支援・要介護者からの移行」、「その他」に区分して計上すること。
- ・同一人が複数の経路で把握された場合には、該当する経路のそれぞれに計上すること。ただし、「基本健康診査(生活機能評価)」については、既に別の経路で把握されていた者について、基本健康診査への受診を勧奨した場合を除くこと。

理由記入欄(エラー有りでも内容が正しい場合など記入して下さい)

**(2) 通所型・訪問型介護予防事業関係
ア 通所型介護予防事業の実施状況**

介護予防プログラム	実施箇所数 (箇所)	実施回数 (回)	参加実人数 (人)	参加延人数 (人)
運動器の機能向上				
栄養改善				
口腔機能の向上				
その他				
計	0	0	0	0

審査

クリア

- ・通所型介護予防事業の実施状況について、「運動器の機能向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」、「その他」の介護予防プログラムの種類別に区分して計上すること。
- ・「実施箇所数」は、当該年度中に、当該プログラムが実施された場所の数について計上すること。同一の場所で複数の介護予防プログラムが実施された場合は、該当する介護予防プログラムのそれぞれに計上すること。
- ・「実施回数」は、当該年度中に、当該プログラムが実施された回数について計上すること。同一の場所・日時に、複数の介護予防プログラムが実施された場合は、該当する介護予防プログラムのそれぞれに計上すること。
- ・「参加実人数」は、当該年度中に、通所型介護予防事業に参加した実人数について計上すること。複数の介護予防プログラムに参加した場合は、該当する介護予防プログラムのそれぞれに計上すること。
- ・「参加延人数」は、当該年度中に、通所型介護予防事業に参加した延人数について、開催した場所ごとに、1日を1単位として計上すること。複数の介護予防プログラムに参加した場合は、該当する介護予防プログラムのそれぞれに計上すること。

理由記入欄(エラー有りでも内容が正しい場合など記入して下さい)

イ 訪問型介護予防事業の実施状況

介護予防プログラム	訪問回数 (回)	被訪問実人数 (人)	被訪問延人数 (人)
運動器の機能向上			
栄養改善			
口腔機能の向上			
閉じこもり予防・支援			
認知症予防・支援			
うつ予防・支援			
その他			
計	0	0	0

審査

クリア

- ・訪問型介護予防事業の実施状況について、「運動器の機能向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」、「閉じこもり予防・支援」、「認知症予防・支援」、「うつ予防・支援」、「その他」の介護予防プログラムの種類別に区分して計上すること。
- ・「訪問回数」は、当該年度中に、訪問した回数について計上すること。同一の訪問時に、複数の介護予防プログラムが実施された場合は、該当する介護予防プログラムのそれぞれに計上すること。
- ・「被訪問実人数」は、当該年度中に、訪問型介護予防事業により訪問を受けた実人数について計上すること。同一の訪問時に、複数の介護予防プログラムが実施された場合は、該当する介護予防プログラムのそれぞれに計上すること。
- ・「被訪問延人数」は、当該年度中に、訪問型介護予防事業により訪問を受けた延人数について、1日を1単位として計上すること。同一の訪問時に、複数の介護予防プログラムが実施された場合は、該当する介護予防プログラムのそれぞれに計上すること。

理由記入欄(エラー有りでも内容が正しい場合など記入して下さい)